

昭和女大短大 刑部 昭子
 岡野 都
 ○椎名 米子
 小ノ沢 治子
 岩佐 純代
 齋藤 幹子

1. 第1報に続きセーター類の場合、特に羊毛はその取扱いについてかならずしも満足した方法がとられていないようである。それに対して合成繊維の取扱い方が簡単であるとされているが、羊毛にない問題点もある。そこで購入したものをどのように取扱い、着用しその結果をどのように認識しているかについて実情を知ることが目的とした。

2. ①調査時期・対象・部数は第1報と同じ。

②取扱いおよび着用感について、取扱いについて6項目、着用感について11項目を抽出し、性別、季節別、職業・身分別にわけて考察を試み、さらにセーター類についての希望事項および合成繊維利用の感想を求めた。

3. 取扱いについては説明どおりにした場合はほとんど満足の結果を得ることができたが、ごくわずかであるが不満な結果も生じている。着用感について冬物は「よい」というのが目だって多く、夏物はやや劣る。「よい」とする項目の中で最も多いのは、夏冬物とも軽いということで、ついでそれぞれの季節に応じてあたたかい、涼しいということがあげられる。着用感が悪いという理由は、前者と逆であたたかさが不足、汗を吸わないので暑いなどが多く、その他毛玉ができる、汚れやすい、帯電性があるなど合成繊維としての欠点が浮かび出た。以上の事項を今後改善を要する問題点として提起したい。